

2024年度報告書

- ・事業報告および附属明細書
- ・貸借対照表
- ・損益計算書(正味財産増減計算書)
- ・損益計算書(正味財産増減計算書)内訳表
- ・財務諸表に対する注記
- ・貸借対照表および損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書
- ・予算対比損益計算書(正味財産増減計算書)
(参考資料)
- ・財産目録(参考資料)
- ・監査報告

一般財団法人 住友生命福祉文化財団

2024年度 事業報告

一般財団法人 住友生命福祉文化財団

I はじめに

- ・2024年度の日本は、経済が緩やかに回復し、春闘ではバブル期以来の賃上げが実現した一方で、物価高、特に食料品や日用品の価格上昇が家計を圧迫し、消費者の節約志向が強まりました。しかしながら、対面型サービスや旅行などの支出は回復傾向を見せるなどポジティブな変化がみられ、脱炭素社会への取り組みや再生可能エネルギーの導入といった環境意識の高まりもあり、経済と環境の両面で変化が進みました。
- ・そのような状況下、当財団では、以下の3事業を通じてお客さま一人ひとりのWell-Being実現に貢献しました。
 1. 予防医学振興事業につきましては、住友生命総合健診システムで実施する総合健診(人間ドック)を柱に、年間2万人を超える受診者にレベルの高い健診の場を提供しました。収益拡大を目指す事業である本事業で、中長期的な単独黒字化実現に向けて取り組みました。
 2. 福祉事業につきましては、「民の立場」から行政の手の届かない分野への支援に継続して取り組むとともに、2023年度から開始した「子ども」「障がい者」をテーマとした新たな事業を、更に発展、充実させるべく取り組みました。
 3. 音楽文化振興事業につきましては、クラシック音楽専用ホール「住友生命いずみホール」を拠点に、音楽による社会貢献を推進すべく、主催公演の集客力向上、貸館事業の稼働率向上に取り組みました。

II 予防医学振興事業 ～健康経営の支援・健康寿命の延伸・Well-Beingの実現～

1. 健診クオリティ・受診者体験価値(CX)の向上

- ・2024年4月から第4期特定健診・特定保健指導がスタートするのに合わせて、特定健診における判定基準・質問項目の変更、特定保健指導における評価基準の見直し等の対応を実施しました。また、より多くの方々に保健指導を実施すべく、体制の強化に取り組みました。
- ・混雑や待ち時間の緩和に向け具体策の検討を行いました。繁忙期となる下期から、受診者の受付開始時間の一部前倒しを実施し、混雑解消や待ち時間削減の効果が得られました。
- ・2025年度に予定している基幹健診システム(名称:THOMAS)の更新に関し、4月より一部先行稼働として、問診・結果報告書・医師による自動診断支援の刷新を図りました。本稼働に向けては、各課題について解決策を確定し、事務面での機能強化のみならず医療面でも標準機能を遵守しつつ、全面的に刷新する仕様を策定いたしました。
- ・これらの取り組みにより、「健診品質の維持と更なる向上」および「受診者へのホスピタリティ向上」を実現し、受診者にご満足いただき、健診リピート率を向上させるように今後も継続して取り組んでまいります。

2. 受診者数の向上・健診収入の拡大

- ・新規取引団体の開拓を目的に、住友生命いずみホールの営業部門との共同訪問の取り組みを進めてまいりました。その結果、健康保険組合との新規取引の開始や、既設団体(事業会社)での受診者増加につながりました。
- ・総受診者においては、将来的な人間ドック受診が見込める団体の生活習慣病健診や一般健診の新規受入れを行った結果、対象団体における生活習慣病健診受診者については2023年度同時期比で+35名となりました。一方で2023年度の住友生命職員の定期健康診断の受診が2024年2月～3月に前倒しとなり増加した反動もあり、2024年度の住友生命職員の定期健康診断の受診者数は、2023年度同時期比で▲233名となり、全体としての受診者数増加につながりませんでした。

- ・人間ドックにおいては、上記住友生命いずみホールとの共同訪問先も含め新規開拓を通じ12団体26名の新たな受診者を獲得したことに加え、既存団体からの新たな人間ドック受診者の掘り起こしを通じ、新規人間ドック受診者2,330名の獲得に至りました。
- ・オプション検査の選択率向上を通じて収益向上を図るため、骨密度検査のPRチラシを新規作成し、住友生命定期健康診断受診者へのPRに活用したり、オプション検査推奨団体への積極的なオプション検査受診の声掛けを行った結果、一部のオプション検査の付帯率が向上しました。
- ・健診以外の手数料収入による収益底上げを図るため、契約団体へ向けた産業医紹介制度や大阪回生病院への脳ドック紹介制度のPRに注力しました。
- ・住友生命健康保険組合からの受診者増加に向けて、住友生命近郊支社・支部への出向PR機会を創出し、定期健診代用での人間ドック受診者獲得に注力しました。加えて、取引先団体訪問時等にリテール営業活動も展開し取引先団体ご所属の方より、直接予約を受付ける対応も実施しました。
- ・以上の各種取り組みを実施し一定の効果は得られましたが、年間通して人間ドック受診者減少の傾向が続き、更に冬期はインフルエンザ流行などもあり厳しい環境となりました。結果として2024年度実績は以下のとおりとなりました。

総受診者数	22,975名	(2023年度実績比 ▲ 642名)
人間ドック受診者数	19,254名	(" ▲ 606名)
健診料収入(税別)注	1,005百万円	(" ▲ 28百万円)

また年間計画に対する遂行率等は以下のとおりとなりました。

総受診者数	95.7%	(計画比 ▲ 1,025名)
人間ドック受診者数	94.3%	(" ▲ 1,146名)
健診料収入(税別)注	91.4%	(" ▲ 95百万円)

注 公益財団法人北海道労働保健管理協会への業務委託に伴い発生する健診料収入(年間3百万円程度)を除く。

Ⅲ 福祉事業 ～「民の立場」から行政の手の届かない分野への支援～

1. 「子ども」を対象とした事業

a. 子どもみらいフォーラム

- ・2023年度に続く「第2回こどもみらいフォーラムおおさか」を11月23日(土)に開催しました。
- ・「子どもの居場所づくりへの貢献」をコンセプトに、基調講演・パネルディスカッション・分科会の3部構成としました。
- ・PRチラシ、ポスターを作成し、当財団HPへの特設ページ開設や読売新聞への広告掲載など告知PRを進め、2024年10月より申込受付を開始しました。
- ・当日は144名に参加いただき、59名の参加者からアンケート回収し、「大変満足：85%、やや満足：15%」と極めて高い満足度となりました。

b. 子どもコンサート

- ・2023年度に続く「第2回こどもクリスマスコンサート」を12月14日(土)に住友生命いずみホールで開催しました。
- ・2023年度参加者の満足度が極めて高いことを踏まえ、2024年度もピアノとバイオリンのデュオ「スギテツ」に出演いただき、前回以上に一体感の生まれる曲目などの公演内容となりました。
- ・PRチラシを作成し、2024年10月より告知PRと申込受付を開始しました。
- ・当日は第1回を大きく上回る208名に参加いただき、50名の参加者からアンケート回収し、「大変満足：93%、やや満足：7%」と極めて高い満足度となりました。

2. 「障がい者」を対象とした事業

a. 障がい者向け無料健診

(1) 聴力障がい者無料健診

- ・受診者から年始早々以外の平日受診を希望する声があることを踏まえ、大阪聴力障害者協会および兵庫県聴覚障害者協会の協力を得て、会員ニーズに関するアンケートを実施しました。
- ・受診者ニーズに対する利便性向上と待ち時間の緩和といったオペレーション上の課題解消の両立に向けて、検討、調整を進めた結果、従来どおりの聴力障がい者だけの環境での受診日（2025年1月6日）に加え、健常者と同じ環境で受診する平日の受診日（2025年1月15日）を設定しました。
- ・2024年9月より、大阪聴力障害者協会、兵庫県聴覚障害者協会および京都府聴覚障害者協会の機関紙への掲載とともに当財団HPを通じた告知PRと申込受付を開始しました。
- ・予定人数を上回る80名の申込みをいただき、抽選で当選した70名のうち、当日までのキャンセルを除いた62名の方に受診いただきました。受診者からは、手話通訳がいる受診環境への安心感や職員対応への御礼とともに継続実施を望む声を多数いただくなど、2024年度も大変意義深いものとなりました。

(2) 視覚障がい者無料健診

- ・2023年度の試験実施から、2024年度は本格実施となることから、利用者のすそ野拡大のため、新たに大阪市視覚障害者福祉協会および堺市視覚障害者福祉協会へ働きかけ、機関紙によるPRを通じて会員へ案内していきたいとの意向を確認しました。
- ・2023年度実施時の改善事項に関する方策を財団内で検討し、2025年1月に上限20名で実施する方向としました。
- ・2024年9月より、大阪府視覚障害者福祉協会、大阪市視覚障害者福祉協会および堺市視覚障害者福祉協会の機関紙を通じた告知PRと申込受付を開始しました。
- ・申込締切までに予定人数20名の申込みをいただき、そのうち当日までのキャンセルを除いた17名の方に受診いただきました。受診者からは、職員対応への感謝の気持ちや今までにない貴重な機会提供への御礼とともに継続実施を望む声を多数いただくなど、大変意義深いものとなりました。

b. 社会貢献する健診施設としての役割発揮

- ・介護家族向け受診優遇制度について、地域ごとの受診者に差が見られることから認知度や受診意向に関するアンケートを実施しました。
- ・このアンケートをきっかけに改めてこの受診優遇制度が認知された結果、2023年度を大きく上回る36名の方に受診いただきました。

3. 地域医療貢献奨励賞

- ・2024年度の実施要項を策定し、後援団体となる自治医科大学、選考委員を委嘱する総務省、厚生労働省や住友生命はじめ関係団体へ通知しました。
- ・あわせて7～8月の推薦受付に向け、自治医科大学との協議を経て、各都道府県あて案内書面を自治医科大学から発送いただきました。
- ・推薦締切後に未提出の自治体へも働きかけた結果、2023年度を4名上回る26名の推薦がありました。その後、11月15日に選考委員会を開催し、6名の医師を選出しました。
- ・12月24日(火)にはプレスリリースを実施するとともに、表彰式および祝宴の準備を進め、3月1日(土)に予定どおり開催しました。

【ご参考】

２０２４年度の地域医療貢献奨励賞の受賞者は以下のとおりです。

＜敬称略＞

吉田 徹 (よしだ とおる)	岩手県 岩手県立中部病院[院長]
	昭和５９年自治医科大学卒。同年６月、岩手県の沿岸部に位置する県立宮古病院に着任。その後も県立山田病院、国保安代診療所と、医師不足の深刻な沿岸・県北地域を中心に活躍。平成２０年から県立釜石病院の副院長を４年間務めた後、平成２４年から県立千厩病院、県立久慈病院、県立宮古病院と院長を歴任され、現在は岩手県内で最大規模の県立中部病院の院長として勤務。 県立千厩病院では回復期リハビリ病棟の開設により周辺病院から急性期治療を終了した症例を中心に受け入れるなど地域のリハビリテーション機能の維持に貢献。 また県立久慈病院では、久慈病院としては初の病院公開イベントの開催、学生向けの職場体験や市民健康講演会などを通じて、病院への理解促進とともに地域住民の健康意識の醸成等、健康で安心して暮らせるまちづくりに貢献。 近年は、病院管理者として病院機能の充実、地域医療の確保にも尽力され、信頼される病院づくりや住民の健康維持増進に寄与してきた功績は顕著であり、多くの住民から感謝と信頼の念を寄せられている。
佐藤 俊浩 (さとう としひろ)	山形県 最上町立最上病院[院長]
	平成元年山形大学大学院医学研究科卒。函館市立函館病院、公立学校共済組合東北中央病院および寒河江市立病院の勤務を経て、平成９年より最上町立最上病院に院長として勤務。 以来２７年にわたり、病院長のほか、併設の介護老人保健施設の施設長や「保険・医療・福祉」の一体化施設（ウェルネスプラザ）の所長として、日常の外来・入院診療に加え「夜間診療、訪問診療、訪問看護」の実施や「福祉と介護サービスの連携」など地域医療の向上と地域包括ケアシステムの構築に尽力。 また、事業者や町民健診の実施等、予防医療面でも町民から絶大な信頼を得ているだけでなく、新型コロナウイルス感染症の拡大時には、発熱外来の設置やコロナ患者の入院受け入れ、会場設置型・各施設でのワクチン接種など、新型コロナウイルス感染症に対する町民の安心安全確保にも奔走。 さらに自治医科大学卒業の研修医、山形大学医学部付属病院や山形県立中央病院等の卒後臨床研修指導医として後進医師の指導・育成にも尽力。 温厚な人柄で町民からの信頼が厚く、へき地医療の確保に献身的に貢献。

塚田 次郎 (つかだ じろう)	新潟県 医療法人社団 塚田こども医院[理事長]
昭和５６年自治医科大学卒。在学中にご自身の育児のため学内に共同保育園を自ら設立。保育士３名での本格的な規模に発展させた経験を通して、子育ては親が孤立して行うものではなく、女性だけに責任を求めるものでもなく、社会との繋がりが必要だと痛感、小児科医を選択して自身のモチベーションとされる。 義務年限中は新潟県立坂町病院で小児科医として勤務。義務年限終了後の平成２年に生まれ故郷の上越市で「塚田こども医院」を開業。 以来、診療に邁進する傍ら、季節の注意事項や感染症情報などを解説する情報紙を毎月作成・配布し、平成１１年に開設した医院ホームページでの情報発信や問合せメールへの返信など、子育てに関する親の不安を和らげることに尽力。 また子育て支援策に関する上越市への働きかけの結果、平成９年の病後児保育事業開始へと結実。しかしながら独自の問題意識から、急性期を含む病児保育・病後児保育事業を平成１３年に自己資金で開始。利用者は初年度１５７人から現在の年間４０００人にまで発展させるなど、利用者から絶大な信頼を得る。 このような地域に根ざした活動に対する理念と長年継続させる情熱は、まさに地域医療の代名詞といえる。	
垣田 秀治 (かきた ひではる)	京都府 国保京丹波町病院[院長]
昭和６０年自治医科大学卒。京都府立医科大学附属病院、国保弥栄病院での勤務を経て、国保京丹波町病院の前身である国民健康保険瑞穂病院に着任、総合内科医として地域医療に注力。義務年限終了後も同院での勤務を継続、足かけ３６年の長きにわたり、一貫して、この病院で地域住民の健康管理に尽力。 自身の技量を磨きぬくことはもとより、土曜診療や関係診療所での夜間診療を開設し、自ら多数の患者の診察に従事。また、町の広報誌に健康情報をコラムとして執筆するとともに、町内外での健康活動に関する講演活動のみならず敬老会などでは三線演奏や沖縄民謡・舞踊を織り交ぜた楽しい健康教室を積極的にこなす。 さらに、自治医科大学入学試験の一次試験（面接官）として将来の地域医療を担うに相応しい医学生を選定や実習・卒業生の受け入れなど後輩の指導や育成に尽力。初期臨床研修医の地域医療研修、内科専門医プログラム・総合診療専門医プログラムの専攻医を受け入れる取り組みにより、令和４年には同院が「地域総合診療専門医プログラム」の基幹病院として登録される。 へき地・山間地勤務への情熱に支えられたこうした取り組みで、医師確保困難地域住民の健康維持や安心安全な社会基盤の維持に貢献し続けている。	

木谷 光博 (きたに みつひろ)	島根県 医療法人カタクリ会[理事長] (兼) 医療法人カタクリ会 よしか病院[院長]
昭和 5 7 年島根医科大学医学部卒。昭和 6 1 年に初任地として一度、津和野共存病院で勤務後、平成 3 年の益田赤十字病院着任以後、益田医療圏域内で地域医療に従事。 平成 2 3 年、益田赤十字病院の常勤麻酔科医・産婦人科医の急減に伴う分娩取扱いが困難な状況にも立ち向かい、島根大学や島根県の支援のもと他県や島根大学から常勤産婦人科医を迎え入れ、地域に唯一の分娩取扱い可能な医療機関として継続。 平成 2 4 年に院長就任後、益田医師会病院との機能連携、分担を進めることで益田赤十字病院を中心とした医療・介護連携体制を構築。また平成 3 0 年には、津和野共存病院の院長・副院長が不在となる事態にあたり、自ら陣頭指揮を執り、島根県へも働きかけ、益田赤十字病院から緊急的に医師を派遣することで難局を乗り切るとともに、綿密な経営分析から在宅系サービスの提供を中心とすること等を指導。 また吉賀町唯一の病院が経営難に陥った際も、医療の灯を消さないため、町出資の医療法人カタクリ会を立ち上げ、一日の隙間もなくよしか病院の運営を開始。 地域密着での永続、周辺医療機関との機能分担・広域的な連携により、地域の患者が地元の適切な医療機関で受診できるべきという病院に対する信念のもと、益田医療圏域の医療介護体制再構築に努めているその功績は極めて大きい。	
三浦 源太 (みうら げんた)	大分県 姫島村国保診療所[所長]
平成元年自治医科大学卒。平成 1 2 年まで大分県職員として県内のへき地診療所やへき地医療拠点病院で勤務。義務年限内の平成 6 年から平成 9 年までの 3 年間と義務年限終了後の平成 1 2 年から現在までの通算 2 7 年間余りを姫島村国民健康保険診療所で勤務。 保健予防推進の面では、兼務する健康推進課課長として村民の健康診査・がん検診に力を入れ、村民の意識向上を実現するとともに、蓄積されたデータを日頃の診察でも活用し、予防と結びつけた医療を実践。 また診療所建物に併設・隣接する地域包括支援センターや高齢者生活福祉センターの指導を通じて、診療所を中心とした地域包括医療・ケア体制を整えることで一人一人の状態にあった医療・福祉サービス・介護サービスの提供にも尽力。 さらに重症患者の対岸までの搬送や救急車への同伴などの安全な搬送体制の整備、年 1 回のヘリ搬送訓練実施といった救急医療の充実、医学生や臨床研修医の積極的な研修受け入れでの若手医師の育成といった地域医療研修などの面でも貢献。 医療の質の向上および保健・医療・福祉の連携による地域包括医療・ケアを推進し、村民が住み慣れた姫島で安心して生活できる環境づくりに大きく貢献。	

IV 音楽文化振興事業 ～良質な音楽を通じて Well-Being な社会の実現に貢献～

1. 主催公演

- ・ 31公演を開催し、入場者数は14,572名（平均入場者数は470名 2023年度実績比+19名）となりました。

芸術性を重視する公演（20公演）と収益性を重視する公演（11公演）を分別し、芸術性を重視する公演はより多くのお客さまにご来場いただくことで芸術の普及を目的とし、収益性を重視する公演はより多くのお客さまにチケットをご購入いただくことで収益の獲得を目的と定め公演運営にあたりました。

- ・ 主な公演は次のとおりです。

① 2024年度の年間メイン企画

11月6日から1月29日の期間で「メンデルスゾーンシリーズ」として、音楽アドバイザーの堀朋平氏によるレクチャー&コンサートを含め、計5公演を実施しました。世界的な指揮者の山田和樹氏と大阪の4つのオーケストラおよび東京混声合唱団による、音楽性の高さ、実力の高さを十分発揮した公演となりました。

② 普及啓発事業公演

4月に「ホールを知る」「ホールを楽しむ」をテーマに2023年度と同様の取り組みとしてオープンハウスを実施しました。ホールバックヤードの見学やミニコンサート等で、お客さまにホールを身近に感じていただきました。そのほかに親子を招待する「いずみ子どもカレッジ」、障がいのある方とサポートする方を招待する「第23回・第24回 夢コンサート」を開催しました。その他普及活動として10月にいずみホール近隣地域で働かれている方を対象にした「OBPクラシック」を実施、2月にフレンズ会員の増員を目指した「フレンズ会員限定パイプオルガン演奏会」を実施しました。

③ 人材養成事業

音楽アドバイザーの堀朋平氏、元新聞記者の尾崎千裕氏を講師に招き、クラシック音楽コンサート制作の基礎講座を実施しました。

④ その他恒例の主催公演

いずみシンフォニエッタ大阪「7月第52回、2月第53回定期演奏会」の他、6月、9月、12月、3月には「ランチタイムコンサート」、7月に「午後の特等席」、8月に「和のいずみ」をそれぞれ開催しました。

- ・ 住友生命社内での住友生命いずみホールの認知度を高め、より多くの職員に足を運んでいただくために、住友生命の社内イントラネットを利用して公演をPRし、チケットの斡旋販売を行いました。

2. 貸館公演・共催公演

- ・ 167公演を開催し、入場者数82,085名（平均入場者数は491名）となりました。
- ・ 2023年度と比べ、公演数は4公演減少しましたが、入場者は8,013名増加しました。コロナ渦前に貸館を利用いただいていたお客さまへの営業アプローチを進め、2023年度に続き「大阪クラシック」での貸館利用、また在阪4オーケストラを中心に貸館利用に向けた取り組みを進めており、関西フィルハーモニー管弦楽団の貸館公演ではフレンズ会員割引を適用する取り組みを継続しました。その他新規の貸館誘致については、旅行代理店や在阪領事館および大阪公立大学の森ノ宮キャンパス開校等での利用につなげていくため関係機関へのアプローチに取り組みました。
- ・ 共催公演について、ホールと主催者の費用負担割合に応じてチケット収入を按分する取り組みを継続しました。

【各公演数・入場者数】

	２０２４年度 () は２０２３年度（注１）		オープン以来（注２）	
	公演数	入場者数	公演数	入場者数
主催公演	２８ (３５)	１４，５０４ (１６，９４９)	１，３５０	７４６，９３２
主催公演 (人材養成事業)	３ (３)	６８ (１８９)		
共催公演	１７ (２３)	６，５９５ (７，４２１)		
貸館（注３）	１５０ (１４８)	７５，４９０ (６６，６５１)	６，３３１	３，３９８，５６４
合計	１９８ (２０９)	９７，３９５ (９１，２１０)	７，６８１	４，１４６，２３４

（注１）中止公演は公演数に含めていません。

（注２）オープン以来累計には休館中等の社外会場実施分、無観客配信公演は含めていません。

（注３）貸館には受託公演を含みます。

３．オフィシャルスポンサー、オフィシャルサポーター等

- ・スポンサー１１社、サポーター２１社となり、２０２３年度比それぞれ１社ずつ減となりました。
- ・引き続き年間シートの活用も含めて、新規スポンサー、サポーター開拓に取り組みました。

４．集客率向上への取り組み

- ・メールマガジン対象者を増やし、チケット購入に繋げるため、チケット割引クーポン付きのメールマガジンの発行を開始しました。
- ・若い世代にクラシック音楽を楽しんでいただく機会を増やすために、割引対象年齢を３０歳以下に拡大したＵ－３０チケットを継続販売しました。
- ・フレンズ会員については、２０２３年１月から開始したWEBフレンズ会員制度（年会費１０００円）への移行が順調に進みました。その結果、３月末時点で、フレンズ会員全体：３，８０３名（２０２３年度末比＋２１４名）、うちWEBフレンズ会員：１，５１１名（２０２３年度末比＋３７１名）と着実に増加が図られました。
- ・２０２４年２月開始のLINEの登録者は７７８名となりました。LINEを活用した広告宣伝等により、メールマガジン対象者が１４，１３３名（２０２３年度末比＋２，２０６名）と増加しました。

５．助成金、補助金

- ・公的助成としては、文化庁（日本芸術文化振興会）から２，７４５万円、大阪府から１００万円、大阪市からは４００万円の助成が得られました。
- ・民間助成としては、三菱UFJ信託芸術文化財団より、５０万円の助成が得られました。

6. その他

- ・ 7月9日 いずみシンフォニエッタ大阪の音楽監督である西村朗氏のお別れの会を実施し、271名の方にお集まりいただきました。
- ・ 2025年度からは、いずみシンフォニエッタ大阪の新音楽監督に藤倉大氏が就任することになり、12月26日記者会見を行いました。

【ご参考】

2024年度の全主催公演は次の内容です（公演日、標題・演奏者、入場者数を記載）。

〔メンデルスゾーン—光のほうに〕

11/6 (水)	特別企画 〈特別企画〉 レクチャー&コンサート邂逅-めぐりあう “時” 出演／堀 朋平（お話）／ロータス・カルテット（弦楽四重奏）	417
1/22 (水)	Vol.1 燦々-祝典、そして南へ 出演／山田和樹（指揮）／大阪交響楽団 企画・監修：堀朋平、山田和樹	537
1/25 (土)	Vol.2 光輝-見いだされた耀き 出演／山田和樹（指揮）／関西フィルハーモニー管弦楽団 周防亮介（ヴァイオリン）、森 麻季／岡田眞弥（ソプラノ） 宮里直樹（テノール）、桑山彩子（パイプオルガン） 東京混声合唱団 企画・監修：堀朋平、山田和樹	768
1/26 (日)	Vol.3 救済-世を照らす祈り 出演／山田和樹（指揮）／日本センチュリー交響楽団 小森輝彦（バリトン）／田崎尚美、大沢結衣*（ソプラノ） 清水華澄、志村美土里*（アルト）、城 宏憲、小沼俊太郎*（テノール） 牧山 亮*、下西祐斗*（バリトン） 富田一樹（パイプオルガン）、東京混声合唱団 *…東京混声合唱団メンバー 企画・監修：堀朋平、山田和樹	622
1/29 (水)	Vol.4 波濤-荒ぶる天才、北へ 出演／山田和樹（指揮）／大阪フィルハーモニー交響楽団 小林愛実（ピアノ） 企画・監修：堀朋平、山田和樹	751

〔新・音楽の未来への旅シリーズ〕

7/13 (土)	いずみシンフォニエッタ大阪 第52回定期演奏会 「スペインの風景—庭から望む森」 出演／飯森範親（指揮） 萩原麻未（ピアノ）、福川伸陽（ホルン）	471
2/15 (土)	いずみシンフォニエッタ大阪 第53回定期演奏会 「五大大陸を巡るシン・音楽漫遊記」 出演／飯森範親（指揮） 古部賢一（オーボエ）、東口泰之（ファゴット）	454

〔フランス・オルガン音楽の魅惑〕

11/23 (土)	ミシェル・ブヴァール プロデュース フランス・オルガン音楽の魅惑《特別編》 出演／ミシェル・ブヴァール（パイプオルガン） 宇山=ブヴァール・康子（パイプオルガン）	351
--------------	--	-----

〔ヨーロッパ・オルガン音楽の伝統と継承を聴く〕

3/21 (金)	Vol. 1 バッハとメンデルスゾーン 出演／富田一樹 (パイプオルガン)	507
-------------	--	-----

〔ランチタイムコンサート〕

6/13 (木)	Vol. 23 「歌い、魅せる“楽器の王”」 出演／長田真実 (パイプオルガン) 堀 朋平 (企画・構成、お話)	472
9/30 (月)	Vol. 24 「なんでも魅せる、ヴィオラたち」 出演／Japan Century Viola 4 日本センチュリー交響楽団ヴィオラ四重奏 堀 朋平 (企画・構成、お話)	516
12/25 (水)	Vol. 25 「クリスマスにひろがる宇宙」 出演／大西宇宙 (バリトン)、菅井美貴 (ピアノ) 堀 朋平 (企画・構成、お話)	504
3/3 (月)	Vol. 26 「時を超えて愛される名曲を、今、ここに。」 出演／金子三勇士 (ピアノ)	762

〔その他公演〕

4/2 (火)	ブルージュ国際古楽コンクール優勝者コンサート 出演／レクチャーの部 平井千絵 (お話/鍵盤楽器奏者)、堀 朋平 (お話/音楽学者) コンサートの部 マチェイ・スクシェチュコフスキ (チェンバロ/ ブルージュ国際古楽コンクール 2023 チェンバロ部門優勝者)	278
5/25 (土)	世界が敬愛するウィーンの巨匠による、ベートーヴェン最後の3つのソナタ 出演／ルドルフ・ブッフビンダー (ピアノ)	553
6/28 (金)	IZUMI JAZZ NIGHT 2024 小曾根真 SOLO 出演／小曾根真 (ピアノ)	768
7/2 (火)	午後の特等席 Vol. 8 出演／藤木大地 (カウンターテナー)、松本和将 (ピアノ)	447
7/19 (金)	ミュージック・サブリ Vol. 17 出演／REAL TRAUM (クラシカル・クロスオーバー・ヴォーカル・ユニット) 高島健一郎、杉浦奎介、鳥尾匠海 (テノール)、 堺 裕馬 (バリトン)、藤川有樹 (ピアノ)	552
8/10 (土)	新・日本の響き 和のいずみ 第2回 出演／片岡リサ (箏/プロデューサー)、 上妻宏光 (津軽三味線)、木場大輔 (胡弓) オープニング演奏：関西創価高等学校 箏曲部	649
8/31 (土)	佐藤正浩プロデュース・オペラ 2024 《真珠とり》 出演／佐藤正浩 (指揮/プロデュース) 森谷真理 (ソプラノ)、宮里直樹 (テノール)、 甲斐栄次郎 (バリトン)、妻屋秀和 (バス) ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団、神戸市混声合唱団	499
11/9 (土)	ベートーヴェン ピアノ・ソナタ 出演／ロナルド・ブラウティハム (フォルテピアノ)	503
1/9 (木)	ニューイヤー・コンサート 2025 出演／ウィーン・リング・アンサンブル	615

〔人材養成事業〕

9/4 (水) ～ 9/6 (金)	アートマネジメント講座 クラシック音楽コンサート制作の基礎講座 講師／堀朋平(住友生命いずみホール音楽アドバイザー)、 尾崎千裕(元・朝日新聞記者)、ホールスタッフ 内容／アートマネジメントを学ぶ学生の方、クラシック音楽ホールの運営 に興味のある方、一般の方 定員：各日 30 名	68
-------------------------------	--	----

〔普及事業〕

4/6 (土)	オープンハウス 出演／◆パイプオルガン (片桐聖子) ◆室内楽 (葵トリオ & 難波洗／2023 年 葵トリオ 室内楽マスタークラスから選抜)	536
8/3 (土)	いずみ子どもカレッジ2024 《みんなで楽しむ動物の謝肉祭》 出演／大阪交響楽団メンバーによる子どもカレッジアンサンブル 岡田倫弥 (指揮)、山本かずみ (お話・歌) 戸村奈央・柏木千裕 (ピアノ)	501
10/11 (金)	OBP クラシック Vol. 2 出演／アカペラグループ チキンガーリックステーキ	321
10/22 (火)	第 23 回夢コンサート 出演／藤岡幸夫 (指揮)、関西フィルハーモニー管弦楽団	412
2/21 (金)	第 24 回夢コンサート 出演／土橋薫 (パイプオルガン)	335
2/25 (火)	【フレンズ限定イベント】 富田一樹 「ヨーロッパ・オルガン音楽の 伝統と継承を聴く」 関連イベント パイプオルガン レクチャー&コンサート 出演／富田一樹 (パイプオルガン / お話)	403

V 財団組織運営に関する事項

1. 評議員会・理事会開催状況

- ・評議員会・理事会の開催実績は以下のとおりです。

【評議員会】

定時 2024年6月21日

- ・2023年度計算書類承認の件
- ・理事9名選任の件
- ・監事2名選任の件
- ・2023年度事業報告について (報告事項)
- ・2024年度事業計画書および収支予算書について (報告事項)

臨時 2025年3月18日 ※定款第19条に規定する決議の省略による。

- ・理事1名選任の件

【理事会】

第1回 2024年5月31日 ※定款第35条に規定する決議の省略による。

- ・2023年度事業報告および計算書類等承認の件
- ・理事候補者9名選出の件
- ・監事候補者2名選出の件
- ・2024年度定時評議員会開催の決定の件

第2回 2024年6月21日

- ・理事長（代表理事）選定の件
- ・常務理事（業務執行理事）選定の件
- ・理事の担当職務承認の件
- ・理事長代行順位承認の件
- ・使用人職務の委嘱承認の件
- ・役員報酬額決定の件
- ・2024年度職務執行状況（4月・5月）について（報告事項）

第3回 2025年3月10日 ※定款第35条に規定する決議の省略による。

- ・理事候補者1名選出の件
- ・臨時評議員会開催の決定の件

第4回 2025年3月17日

- ・2025年度事業計画書および収支予算書承認の件
- ・2024年度職務執行状況（4月～1月）について（報告事項）

第5回 2025年3月28日 ※定款第35条に規定する決議の省略による。

- ・常務理事（業務執行理事）選定の件
- ・理事の担当職務承認の件
- ・理事長代行順位承認の件
- ・使用人職務の委嘱承認の件
- ・役員報酬額決定の件

2. 内部統制に関する報告

- ・「内部統制に関する基本方針（2013年4月1日制定、2015年5月29日改定）」は次のとおりです
 - （1）理事及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
 - （2）理事の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
 - （3）損失の危険の管理に関する規程
 - （4）理事の職務執行が効率的に行われることを確保するための体制
 - （5）監事とその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人及びその独立性に関する事項及び当該使用人に対する指示の実効性確保に関する事項
 - （6）理事及び使用人が監事に報告するための体制その他の監事への報告に関する体制及び当該報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利益な取扱いを受けないことを確保するための体制
 - （7）監事の職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続きその他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項
 - （8）その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

- ・経営に重大な影響を与える事案や受益者等の利益が著しく阻害される事案等は発生していません。各規程に定める理事会および監事への報告事項は下表のとおりです。

規程名	報告内容	2024年度状況
法令等遵守規程	コンプライアンスプログラムの遂行状況・達成状況	遂行状況・達成状況について問題なし。
	法令等遵守状況	法令等遵守状況について問題なし。
内部通報規程	内部通報制度で受け付けた通報・相談内容および処理内容	内部通報制度で受け付けた通報・相談内容および処理内容に問題なし。
反社会的勢力対策規程	反社会的勢力への対応状況	反社会的勢力が関与する事案はなし。
受益者管理指針	相談・苦情等について	経営に重大な影響を与える、又は受益者の利益が著しく阻害されると判断される事案はなし。
受益者情報管理規程	受益者情報の管理状況	受益者情報の管理状況について問題なし。
外部委託管理規程	各委託元部署から集約した外部委託管理の全社状況その他の重要事項	外部委託先管理において問題となる事項はなし。
リスク管理規程	リスクの状況等	経営に重大な影響を与えると判断される事案はなし。
内部管理法内 検証規程	検証結果	問題となる事項なし。

3. 評議員・役員の状況

- ・2024年度における異動は次のとおりです。(敬称略)

2024年6月21日	理事	退任(任期満了)	堀本 葉子
	理事長	重任	藤山 勝伸
	常務理事	重任	近藤 滋樹
	常務理事	重任	山崎 謙
	理事	重任	宇高 不可思
	理事	重任	香曾我部 武
	理事	重任	澤田 拓子
	理事	重任	中村 孝義
	理事	重任	林 紀夫
	監事	重任	上野 博明
	監事	重任	田中 英行
	理事	新任	水谷 昌代
2025年3月31日	常務理事	辞任	山崎 謙

※

※2025年4月1日付で松田陽常務理事が就任しています。

評 議 員 名 簿（敬称略）

（２０２５年３月３１日現在）

評議員	小栗 まち絵	相愛大学 客員教授・東京音楽大学 特任教授・ヴァイオリニスト
評議員	片山 登志子	片山・平泉・櫛座法律事務所 弁護士 住友生命保険相互会社 社外取締役
評議員	楠岡 英雄	独立行政法人 国立病院機構 名誉理事長
評議員	斉藤 弥生	大阪大学大学院人間科学研究科 教授
評議員	佐藤 義雄	住友生命保険相互会社 特別顧問・元取締役会長代表執行役
評議員	橋本 研	レンゴー株式会社 常勤監査役
評議員	森田 耕太郎	サカティンクス株式会社 元取締役会長

役 員 名 簿（敬称略）

（２０２５年３月３１日現在）

理事長	藤山 勝伸	住友生命保険相互会社 特別顧問・元執行役常務
常務理事	近藤 滋樹	一般財団法人住友生命福祉文化財団 本部事務局長
常務理事	山崎 謙	一般財団法人住友生命福祉文化財団 住友生命いずみホール事業局長
理事	宇高 不可思	一般財団法人住友病院 特別顧問
理事	香曾我部 武	大和ハウス工業株式会社 代表取締役副社長/CF0
理事	澤田 拓子	塩野義製薬株式会社 取締役副会長
理事	中村 孝義	学校法人大阪音楽大学 名誉教授 元学校法人大阪音楽大学 理事長・学長
理事	林 紀夫	独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災病院 病院長
理事	水谷 昌代	一般財団法人住友生命福祉文化財団 住友生命総合健診システム所長
監事	上野 博明	上野博明事務所 公認会計士・税理士
監事	田中 英行	宮崎綜合法律事務所 弁護士

※２０２５年３月３１日付で山崎謙常務理事が辞任し、２０２５年４月１日付で松田陽常務理事が就任しています。

４．その他

- ・附属明細書として、事業報告の内容を補足すべき重要事項はありません。

以上

貸借対照表

2025年 3月31日現在

(単位:円)

科 目				当年度	前年度	増 減
I 資産の部						
1. 流動資産						
現 金	預 金			967,399,646	1,036,128,690	-68,729,044
未 収	収 入			253,752	61,327	192,425
未 貯	収 入			173,391,628	168,164,415	5,227,213
有 価	蔵 品			12,675,006	11,265,559	1,409,447
立 替	証 券			0	199,895,100	-199,895,100
前 払	金 用			270,500	541,600	-271,100
仮 払	費 用			8,508,418	6,604,377	1,904,041
未 収 還 付 法 人 税 等	金 等			5,630,000	5,610,000	20,000
				158,542	1,082	157,460
				1,168,287,492	1,428,272,150	-259,984,658
2. 固定資産						
(1) 基本財産						
投 資 有 価 証 券				690,407,900	696,575,200	-6,167,300
普 通 預 金				1,039,350	1,039,350	0
基本財産合計				691,447,250	697,614,550	-6,167,300
(2) 特定資産						
退 職 給 付 引 当 資 産				222,029,520	199,613,520	22,416,000
特定資産合計				222,029,520	199,613,520	22,416,000
(3) その他固定資産						
建 物 附 属 設 備				17,837,112	20,519,875	-2,682,763
構 築 物				1,576,611	1,634,519	-57,908
什 器 備 品				149,822,878	127,539,301	22,283,577
ソ フ ト ウ エ ア				9,074,378	8,514,883	559,495
投 資 有 価 証 券				288,409,000	99,190,000	189,219,000
電 話 加 入 権				432,000	432,000	0
敷 金				4,652,000	4,652,000	0
長 期 前 払 費 用				3,973,094	314,600	3,658,494
その他固定資産合計				475,777,073	262,797,178	212,979,895
固定資産合計				1,389,253,843	1,160,025,248	229,228,595
資産合計				2,557,541,335	2,588,297,398	-30,756,063
II 負債の部						
1. 流動負債						
未 払 費 金				132,392,348	113,901,462	18,490,886
未 払 費 用				12,087,708	10,238,970	1,848,738
預 り 金				6,168,542	6,839,066	-670,524
前 受 金				42,434,526	30,664,010	11,770,516
賞 与 引 当 金				43,710,144	44,060,878	-350,734
未 払 法 人 税 等				120,000	120,000	0
未 払 消 費 税 等				6,157,900	12,705,700	-6,547,800
流動負債合計				243,071,168	218,530,086	24,541,082
2. 固定負債						
退 職 給 付 引 当 金				269,389,696	283,537,000	-14,147,304
固定負債合計				269,389,696	283,537,000	-14,147,304
負債合計				512,460,864	502,067,086	10,393,778
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
寄 付 金				690,131,983	696,296,720	-6,164,737
指定正味財産合計				690,131,983	696,296,720	-6,164,737
(うち基本財産への充当額)				690,131,983	696,296,720	-6,164,737
2. 一般正味財産						
(うち基本財産への充当額)				1,354,948,488	1,389,933,592	-34,985,104
(うち特定資産への充当額)				1,315,267	1,317,830	-2,563
(うち特定資産への充当額)				0	0	0
正味財産合計				2,045,080,471	2,086,230,312	-41,149,841
負債及び正味財産合計				2,557,541,335	2,588,297,398	-30,756,063

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

(単位:円)

科 目		当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基 本 財 産 運 用 益		390,630	177,693	212,937
基 本 財 産 受 取 利 息		390,630	177,693	212,937
事 業 収 益		1,185,836,656	1,220,228,958	-34,392,302
健 診 事 業 収 益		1,007,387,385	1,035,748,014	-28,360,629
受 取 補 助 業 金 収 益		178,449,271	184,480,944	-6,031,673
受 取 寄 付 金 収 益		32,959,000	33,592,000	-633,000
受 取 寄 付 金 収 益		32,959,000	33,592,000	-633,000
受 取 寄 付 金 収 益		380,000,000	385,000,000	-5,000,000
受 取 寄 付 金 収 益		380,000,000	385,000,000	-5,000,000
雑 受 取 利 息 益		1,493,871	654,298	839,573
雑 受 取 利 息 益		1,068,032	7,117	1,060,915
経常収益計		425,839	647,181	-221,342
(2) 経常費用		1,600,680,157	1,639,652,949	-38,972,792
事 業 費		1,600,095,395	1,616,188,686	-16,093,291
役 給 員 報 酬		10,788,000	10,923,850	-135,850
臨 時 雇 手 賃 金		348,795,881	354,544,653	-5,748,772
退 職 利 給 厚 付 生 費		319,650,075	310,004,234	9,645,841
福 利 告 白 宣 伝 費		18,852,164	27,274,300	-8,422,136
旅 通 減 耗 什 耗 器 備 品 費		95,415,032	80,313,317	15,101,715
消 耗 什 耗 器 備 品 費		20,305,443	23,544,495	-3,239,052
修 印 刷 熱 繕 製 水 借 除 謝 交 公 際		25,907,211	26,031,088	-123,877
光 賃 保 諸 会 租 支 支 委 雑		24,926,844	24,450,552	476,292
管 理 費		51,584,460	58,566,981	-6,982,521
役 給 員 報 酬		4,864,710	1,311,886	3,552,824
臨 時 雇 手 賃 金		19,056,301	18,563,973	492,328
退 職 利 給 厚 付 生 費		113,061,264	116,933,878	-3,872,614
福 利 告 白 宣 伝 費		29,306,186	31,659,818	-2,353,632
旅 通 減 耗 什 耗 器 備 品 費		8,003,353	9,464,304	-1,460,951
消 耗 什 耗 器 備 品 費		15,375,271	16,032,888	-657,617
修 印 刷 熱 繕 製 水 借 除 謝 交 公 際		148,865,739	149,212,442	-346,703
光 賃 保 諸 会 租 支 支 委 雑		1,141,219	965,674	175,545
管 理 費		2,665,408	1,742,299	923,109
役 給 員 報 酬		1,548,075	2,781,609	-1,233,534
臨 時 雇 手 賃 金		22,300,362	21,390,732	909,630
退 職 利 給 厚 付 生 費		1,026,500	1,185,555	-159,055
福 利 告 白 宣 伝 費		3,000,000	3,000,000	0
旅 通 減 耗 什 耗 器 備 品 費		111,631,826	114,471,916	-2,840,090
消 耗 什 耗 器 備 品 費		11,076,161	10,992,307	83,854
修 印 刷 熱 繕 製 水 借 除 謝 交 公 際		89,654,023	88,243,704	1,410,319
光 賃 保 諸 会 租 支 支 委 雑		101,293,887	112,582,231	-11,288,344
管 理 費		24,754,171	15,557,343	9,196,828
役 給 員 報 酬		2,300,000	2,307,150	-7,150
臨 時 雇 手 賃 金		8,694,059	5,078,272	3,615,787
退 職 利 給 厚 付 生 費		2,316,532	40,700	2,275,832
福 利 告 白 宣 伝 費		3,971,079	2,073,058	1,898,021
旅 通 減 耗 什 耗 器 備 品 費		256,569	605,701	-349,132
消 耗 什 耗 器 備 品 費		600	2,300	-1,700
修 印 刷 熱 繕 製 水 借 除 謝 交 公 際		257,340	259,764	-2,424
光 賃 保 諸 会 租 支 支 委 雑		1,197,850	10,000	1,187,850
管 理 費		20,730	0	20,730
役 給 員 報 酬		45,874	48,663	-2,789
臨 時 雇 手 賃 金		571,461	571,461	0
退 職 利 給 厚 付 生 費		122,257	288,993	-166,736
福 利 告 白 宣 伝 費		1,650,000	1,200,000	450,000
旅 通 減 耗 什 耗 器 備 品 費		1,046,595	946,740	99,855
消 耗 什 耗 器 備 品 費		797,711	638,619	159,092
修 印 刷 熱 繕 製 水 借 除 謝 交 公 際		144,000	144,000	0
光 賃 保 諸 会 租 支 支 委 雑		20,000	20,000	0
管 理 費		1,240,564	1,161,722	78,842
役 給 員 報 酬		100,950	160,200	-59,250
経常費用計		1,624,849,566	1,631,746,029	-6,896,463
評価損益等調整前当期経常増減額		-24,169,409	7,906,920	-32,076,329
投資有価証券評価損益等		-10,678,663	-324,679	-10,353,984
評価損益等計		-10,678,663	-324,679	-10,353,984
当期経常増減額		-34,848,072	7,582,241	-42,430,313
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計		0	0	0
(2) 経常外費用				
固 定 資 産 除 却 損		137,032	2	137,030
経常外費用計		137,032	2	137,030
当期経常外増減額		-137,032	-2	-137,030
当期一般正味財産増減額		-34,985,104	7,582,239	-42,567,343
一般正味財産期首残高		1,389,933,592	1,382,351,353	7,582,239
一般正味財産期末残高		1,354,948,488	1,389,933,592	-34,985,104
II 指定正味財産増減の部				
基 本 財 産 運 用 益		390,628	177,691	212,937
基 本 財 産 受 取 利 息		390,628	177,691	212,937
基 本 財 産 評 価 益		80,000	70,000	10,000
基 本 財 産 評 価 損		80,000	70,000	10,000
基 本 財 産 評 価 損		6,244,737	1,321,221	4,923,516
基 本 財 産 評 価 損		6,244,737	1,321,221	4,923,516
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額		-390,628	-177,691	-212,937
当期指定正味財産増減額		-6,164,737	-1,251,221	-4,913,516
指定正味財産期首残高		696,296,720	697,547,941	-1,251,221
指定正味財産期末残高		690,131,983	696,296,720	-6,164,737
III 正味財産期末残高		2,045,080,471	2,086,230,312	-41,149,841

正味財産増減計算書内訳表

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	事業別会計				法人会計	合 計
	予防医学振興事業	福祉事業	音楽文化振興事業	小 計		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	0	0	0	0	390,630	390,630
基本財産受取利息	0	0	0	0	390,630	390,630
事業収益	1,007,387,385	0	178,449,271	1,185,836,656	0	1,185,836,656
健康事業収益	1,007,387,385	0	0	1,007,387,385	0	1,007,387,385
いずみ事業収益	0	0	178,449,271	178,449,271	0	178,449,271
受取補助金等	0	0	32,959,000	32,959,000	0	32,959,000
受取補助金	0	0	32,959,000	32,959,000	0	32,959,000
受取寄付金	30,000,000	39,000,000	282,000,000	351,000,000	29,000,000	380,000,000
受取寄付金	30,000,000	39,000,000	282,000,000	351,000,000	29,000,000	380,000,000
雑収益	1,231,725	0	262,146	1,493,871	0	1,493,871
受取利息	1,068,032	0	0	1,068,032	0	1,068,032
雑収益	163,693	0	262,146	425,839	0	425,839
経常収益計	1,038,619,110	39,000,000	493,670,417	1,571,289,527	29,390,630	1,600,680,157
(2) 経常費用						
事業費	1,106,710,975	42,140,115	451,244,305	1,600,095,395	0	1,600,095,395
役員報酬	2,544,000	2,544,000	5,700,000	10,788,000	0	10,788,000
給料手当	239,959,498	6,755,665	102,080,718	348,795,881	0	348,795,881
臨時雇賃金	296,986,782	0	22,663,293	319,650,075	0	319,650,075
退職給付費用	1,803,100	4,633,064	12,416,000	18,852,164	0	18,852,164
福利厚生費	65,242,255	3,273,267	26,899,510	95,415,032	0	95,415,032
広告宣伝費	487,081	9,700,000	10,118,362	20,305,443	0	20,305,443
旅費交通費	18,631,961	986,071	6,289,179	25,907,211	0	25,907,211
通運搬費	18,143,390	0	6,783,454	24,926,844	0	24,926,844
減価償却費	45,909,421	0	5,675,039	51,584,460	0	51,584,460
消耗什器備品費	4,474,710	0	390,000	4,864,710	0	4,864,710
消耗品費	13,269,916	0	5,786,385	19,056,301	0	19,056,301
健康診断消耗品費	113,061,264	0	0	113,061,264	0	113,061,264
修繕費	28,147,259	0	1,158,927	29,306,186	0	29,306,186
印刷製本費	2,131,639	57,291	5,814,423	8,003,353	0	8,003,353
光熱水料費	11,081,414	61,539	4,232,318	15,375,271	0	15,375,271
賃借料	140,497,785	766,594	7,601,360	148,865,739	0	148,865,739
保険料	551,068	2,089	588,062	1,141,219	0	1,141,219
諸謝金	35,436	858,458	1,771,514	2,665,408	0	2,665,408
会議・交際費	68,046	1,111,415	368,614	1,548,075	0	1,548,075
租税公課	3,715,389	1,857,397	16,727,576	22,300,362	0	22,300,362
支払負担金	858,800	0	167,700	1,026,500	0	1,026,500
支払助成金	0	3,000,000	0	3,000,000	0	3,000,000
委託託費	90,943,763	6,512,465	14,175,598	111,631,826	0	111,631,826
雑費	8,166,998	20,800	2,888,363	11,076,161	0	11,076,161
いずみホール管理費	0	0	89,654,023	89,654,023	0	89,654,023
公演企画制作費	0	0	101,293,887	101,293,887	0	101,293,887
管理費	0	0	0	0	24,754,171	24,754,171
役員報酬	0	0	0	0	2,300,000	2,300,000
給料手当	0	0	0	0	8,694,059	8,694,059
退職給付費用	0	0	0	0	2,316,532	2,316,532
福利厚生費	0	0	0	0	3,971,079	3,971,079
旅費交通費	0	0	0	0	256,569	256,569
通運搬費	0	0	0	0	600	600
消耗品費	0	0	0	0	257,340	257,340
修繕費	0	0	0	0	1,197,850	1,197,850
印刷製本費	0	0	0	0	20,730	20,730
光熱水料費	0	0	0	0	45,874	45,874
賃借料	0	0	0	0	571,461	571,461
保険料	0	0	0	0	122,257	122,257
諸謝金	0	0	0	0	1,650,000	1,650,000
会議・交際費	0	0	0	0	1,046,595	1,046,595
租税公課	0	0	0	0	797,711	797,711
支払負担金	0	0	0	0	144,000	144,000
支払寄付金	0	0	0	0	20,000	20,000
委託託費	0	0	0	0	1,240,564	1,240,564
雑費	0	0	0	0	100,950	100,950
経常費用計	1,106,710,975	42,140,115	451,244,305	1,600,095,395	24,754,171	1,624,849,566
評価損益等調整前当期経常増減額	-68,091,865	-3,140,115	42,426,112	-28,805,868	4,636,459	-24,169,409
投資有価証券評価損益等	-10,676,100	0	0	-10,676,100	-2,563	-10,678,663
評価損益等計	-10,676,100	0	0	-10,676,100	-2,563	-10,678,663
当期経常増減額	-78,767,965	-3,140,115	42,426,112	-39,481,968	4,633,896	-34,848,072
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
固定資産除却損	15,004	0	122,028	137,032	0	137,032
経常外費用計	15,004	0	122,028	137,032	0	137,032
当期経常外増減額	-15,004	0	-122,028	-137,032	0	-137,032
当期一般正味財産増減額	-78,782,969	-3,140,115	42,304,084	-39,619,000	4,633,896	-34,985,104
一般正味財産期首残高	1,853,157,862	-1,128,958,120	-1,602,468,468	-878,268,726	2,268,202,318	1,389,933,592
一般正味財産期末残高	1,774,374,893	-1,132,098,235	-1,560,164,384	-917,887,726	2,272,836,214	1,354,948,488
II 指定正味財産増減の部						
基本財産運用益	0	0	0	0	390,628	390,628
基本財産受取利息	0	0	0	0	390,628	390,628
基本財産評価益	0	0	0	0	80,000	80,000
基本財産評価損	0	0	0	0	80,000	80,000
基本財産評価損	0	0	0	0	6,244,737	6,244,737
基本財産評価損	0	0	0	0	6,244,737	6,244,737
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	-390,628	-390,628
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	-6,164,737	-6,164,737
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	696,296,720	696,296,720
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	690,131,983	690,131,983
III 正味財産期末残高	1,774,374,893	-1,132,098,235	-1,560,164,384	-917,887,726	2,962,968,197	2,045,080,471

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・移動平均法による償却原価法(定額法)によっている。

その他有価証券

時価のあるもの・・・期末日の市場価額等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの・・・移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品・・・個別法による原価法によっている。

(3) 有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法

定額法によっている。(耐用年数及び残存価額は法人税法に規定する方法と同一の基準)

(4) 無形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法

定額法によっている。(耐用年数及び残存価額は法人税法に規定する方法と同一の基準)

(5) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、退職一時金については当事業年度末における自己都合要支給額に相当する金額、退職年金については年金の将来支給予定額を現在価値に割引いた金額を計上している。

なお、会計基準変更時差異については、15年による按分額を費用処理している。

賞与引当金・・・・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(6) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	696,575,200	100,080,000	106,247,300	690,407,900
普通預金	1,039,350	0	0	1,039,350
小 計	697,614,550	100,080,000	106,247,300	691,447,250
特定資産				
退職給付引当資産	199,613,520	22,416,000	0	222,029,520
小 計	199,613,520	22,416,000	0	222,029,520
合 計	897,228,070	122,496,000	106,247,300	913,476,770

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	690,407,900	690,131,983	275,917	0
普通預金	1,039,350	0	1,039,350	0
小 計	691,447,250	690,131,983	1,315,267	0
特定資産				
退職給付引当資産	222,029,520	0	0	222,029,520
小 計	222,029,520	0	0	222,029,520
合 計	913,476,770	690,131,983	1,315,267	222,029,520

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	661,024,287	643,187,175	17,837,112
構築物	2,797,498	1,220,887	1,576,611
什器備品	733,410,714	583,587,836	149,822,878
ソフトウェア	100,630,231	91,555,853	9,074,378
合 計	1,497,862,730	1,319,551,751	178,310,979

5. 偶発債務

事務所及び診療施設に関して、賃貸借契約に基づく賃貸借契約終了時の原状回復義務を有しているが、その見積額は、360,000,000円である。なお、当財団は建物の取壊しまで賃貸借契約を継続する意向であり、その場合には原状回復を行うことなく建物の取壊しが行われると考えられることから、損失の発生の可能性は低いと判断している。

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
寄付金						
基本財産充当寄付金	住友生命保険相互会社	696,296,720	470,628	6,635,365	690,131,983	指定正味財産
2024年度寄付金	住友生命保険相互会社	0	380,000,000	380,000,000	0	一般正味財産
助成金						
2024年度文化芸術振興費補助金	独立行政法人日本芸術文化振興会	0	27,459,000	27,459,000	0	一般正味財産
2024年度芸術活動振興事業助成金	大阪市	0	4,000,000	4,000,000	0	一般正味財産
2024年度芸術文化振興補助金	大阪府	0	1,000,000	1,000,000	0	一般正味財産
8/31公演助成金	公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
合 計		696,296,720	413,429,628	419,594,365	690,131,983	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息振替額 (償却原価法によるものを除く)	390,628
合 計	390,628

8. 金融商品に関する事項

- (1) 金融商品に対する取組方針
当法人は、預金及び債券により資産運用し、デリバティブ取引は行わない方針である。
- (2) 金融商品の内容及びそのリスク
有価証券及び投資有価証券は、債券であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。
- (3) 金融商品のリスクに係る管理体制
 - ① 資金運用規程に基づく取引
金融商品の取引は、当法人の資金運用規程に基づき行っている。
 - ② 信用リスクの管理
発行体の状況等を定期的に把握し、理事会に報告している。
 - ③ 市場リスクの管理
関連する市場の動向等を把握し、理事会に報告している。

9. その他

- (1) 退職給付関係
 - ① 採用している退職給付制度の概要
確定給付型の制度として退職一時金及び退職年金制度を設けている。

- ② 退職給付債務及びその内訳

(単位:円)

退職給付債務	-269,389,696
退職給付引当金	-269,389,696

- ③ 退職給付費用に関する事項

(単位:円)

勤務費用	21,168,696
退職給付費用	21,168,696

- ④ 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職一時金制度に基づく期末の自己都合要支給額及び退職年金制度に基づく将来支給予定額を現在価値に割り引いた金額を計算の基礎としている。

- (2) 資産除去債務

事務所及び診療施設に関して、賃貸借契約に基づく賃貸借契約終了時の原状回復義務を有しているが、当財団は建物の取壊しまで賃貸借契約を継続する意向であり、その場合には原状回復を行うことなく建物の取壊しが行われると考えられることから、資産除去債務を計上していない。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細書

財務諸表に対する注記に記載しており、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細書

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞 与 引 当 金	44,060,878	43,710,144	44,060,878	0	43,710,144
退職給付引当金	283,537,000	21,168,696	35,316,000	0	269,389,696

(単位:円)

決算額: 71.823.893

財産目録（参考資料）

2025年 3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		内容・備考	金額
(流動資産)	現金	手元保管（予防医学振興事業） 手元保管（音楽文化振興事業）	1,325,244 1,142,179
	預金	普通預金 三井住友銀行（予防医学振興事業） みずほ銀行（予防医学振興事業） 三菱ＵＦＪ銀行（予防医学振興事業） ゆうちょ銀行（予防医学振興事業） 三井住友銀行（福祉事業） 関西みらい銀行（音楽文化振興事業） 関西みらい銀行（音楽文化振興事業） 関西みらい銀行（音楽文化振興事業） 三菱ＵＦＪ銀行（音楽文化振興事業） 三井住友銀行（音楽文化振興事業） 三井住友銀行（音楽文化振興事業） ゆうちょ銀行（音楽文化振興事業） 三井住友銀行（法人会計）	183,065 966,074,402 160,169,733 11,079,560 182,345,360 3,517,028 115,015,747 184,341,413 6,893,213 4,449,307 595,662 988,579 15,000,000 26,428,605 255,250,195
	未収収益		253,752
	未収金	予防医学振興事業未収金 音楽文化振興事業未収金	173,391,628 132,907,729
	貯蔵品	音楽文化振興事業未収金 予防医学振興事業貯蔵品 音楽文化振興事業貯蔵品	40,483,899 12,675,006 9,923,245
	立替金		2,751,761
	前払費用		270,500
	仮払金	予防医学振興事業前払費用 音楽文化振興事業前払費用	8,508,418 1,849,690
			6,658,728
			5,630,000
		予防医学振興事業仮払金 法人会計仮払金	5,610,000 20,000
	未収還付法人税等		158,542
流動資産合計			1,168,287,492
(固定資産)	基本財産		691,447,250
	投資有価証券	第１７７回大阪府債（法人会計） 第１９２回大阪府債（法人会計） 第２回長崎県債（法人会計） 第１７回愛知県債（法人会計）	690,407,900 298,670,800 196,447,600 97,359,500 97,930,000
	普通預金		1,039,350
		三菱ＵＦＪ銀行（法人会計）	1,039,350
	特定資産		222,029,520
	退職給付引当資産		222,029,520
		三菱ＵＦＪ銀行（予防医学振興事業） 関西みらい銀行（音楽文化振興事業）	177,721,520 44,308,000
	その他固定資産		475,777,073
	建物付属設備		17,837,112
	構築物		1,576,611
	什器備品		149,822,878
	ソフトウェア		9,074,378
	投資有価証券		288,409,000
		第１９２回大阪府債（予防医学振興事業） 第８回愛知県債（予防医学振興事業） 第１回京都市債（予防医学振興事業）	98,220,000 95,164,000 95,025,000
	電話加入権		432,000
	敷金		4,652,000
	長期前払費用		3,973,094
固定資産合計			1,389,253,843
資産合計			2,557,541,335
(流動負債)	未払金	予防医学振興事業未払金 音楽文化振興事業未払金	132,392,348 116,871,828
	未払費用	音楽文化振興事業未払金 予防医学振興事業未払費用 音楽文化振興事業未払費用	15,520,520 12,087,708 8,423,788
	預り金		3,663,920
		予防医学振興事業未払金 音楽文化振興事業未払金	6,168,542 3,094,034
	前受金		3,074,508
	賞与引当金	音楽文化振興事業前受金	42,434,526
			42,434,526
		予防医学振興事業賞与引当金 音楽文化振興事業賞与引当金	43,710,144 32,852,666
	未払法人税等		10,857,478
	未払消費税等		120,000
流動負債合計			6,157,900
(固定負債)			243,071,168
(固定負債)	退職給付引当金		269,389,696
		予防医学振興事業退職給付引当金 音楽文化振興事業退職給付引当金	225,081,696 44,308,000
固定負債合計			269,389,696
負債合計			512,460,864
正味財産			2,045,080,471

監 査 報 告

2025 年 5 月 20 日

一般財団法人住友生命福祉文化財団

理事長 藤山 勝伸 殿

監事

上野 博明 

監事

田中 英子 

私たち監事は、2024年4月1日から2025年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上